

講義名	(対面)基礎技能C(文章理解)【公務員プログラム科目】(5210)		
科目区分	教養基礎		
担当教員	三谷 哲雄		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 5時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
公務員試験で必要となる「基礎能力」に関し、幅広く「講義」と「演習」を織り込み、教養科目の核となる『数的処理』を解く能力の底上げを図る。これにより、社会人として必要な基礎的な文章読解・文章構成力を身につけてもらう。 また、公務員の職種や試験制度、今後の学習方法について学ぶ。 なお、本授業は講師と受講生のコミュニケーションを重視するため、教室における対面式授業で実施する。 ただし、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により全ての授業がオンライン授業に切り替わった場合には、本授業はLive型で実施する予定である。

到達目標
公務員試験の一般知識分野を学ぶ上で重要となる「基礎的概念」の理解に必修となる「総合力」を養う。

提出課題
毎授業時に提出課題あり。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック
課題提出後、講評・解説を行う。

評価の基準
出席、授業内テスト、提出課題を合わせて評価する。

履修にあたっての注意・助言他
事前に履修希望者に対して、この授業で学習する上で、最低限必要と思われる問題を抜粋した確認テストを実施します。この試験で合格点が獲得できないようであれば、当該科目の単位修得は難しいと思われるため、履修判断の1つの基準としてください。 公務員対策は4年間にわたる長丁場の取り組みとなり、強い意志が必要となるため、これらを自身で判断するためのエントリーシートを事前に提出していただきます。前述の確認テスト同様、こちらも公務員に対する熱意が希薄と判断される場合は当該科目の単位修得は難しいと思われるため、履修判断の1つの基準としてください。 試験期間に試験は行わず、成績は授業期間内で全て評価される。毎回出席すること。 受講態度が悪い場合には、減点する。事前課題有り。

教科書
公務員試験 新・初級スーパー過去問ゼミ 文章理解・資料解釈[改訂 資格試験研究会 編 実務教育出版 1,540円 978478968943]

プリント資料及び参考文献
必要に応じて資料を適宜配布する。

授業計画
第1回 現代文：要旨把握 ・公務員ガイダンス 第2回 現代文：要旨把握 第3回 現代文：内容把握 第4回 現代文：内容把握 第5回 現代文：空欄補充 第6回 現代文：空欄補充 第7回 現代文：文章整序 第8回 現代文：文章整序 第9回 英文：要旨把握 第10回 英文：要旨把握 第11回 英文：内容把握 第12回 英文：内容把握 第13回 空欄補充 第14回 文章整序 第15回 古文

授業形態(アクティブ・ラーニング)
ア：PBL(課題解決型学習)
イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間
予習：それぞれの回の実施内容(全体把握)を30分程度予習すること。 復習：講義内で実施した範囲の問題演習を繰り返し、3回以上は解くこと。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考
小テスト(5問)を第3回、6回、9回、12回、15回に実施する。